



Your Field ▽ PICK UP

vol. 13

神奈川大学
ボランティア活動支援室

1. ボランティア活動支援室
とは…?
2. 年間活動
3. 特集
「そうだ、他大学行こう」
4. 活動報告
 - ・学生フォーラム
 - ・ちよいボラ
 - ・花火大会
 - ・ぐりぐら交流会

ボランティア活動支援室とは？

ボランティア活動支援室とはサークル活動ではなく、ボランティアをしたい学生とボランティアを提供して下さる団体（機関）とをつなぐ組織です。教育支援センターの支援を受けて、学生が主体的に運営にあたっています。



【活動内容】

ボランティア活動支援室では、ボランティア体験を希望する神奈川大学の学生に、活動の場や機会を紹介しています。学内外から集められた様々なボランティア情報の中から活動を選ぶことができます。また、ボランティア活動は未経験の方でも、スタッフが相談に乗りますので、自分の学習や生活のスタイルに合った活動を探すことができます。



スタッフが誠意をもって、
ボランティアを紹介します！

【開室日】月曜日から金曜日

【時間】10時から17時まで(13時から14時は昼休み)開いています

【活動場所】19号館305室(大学生協横の階段をお上がり下さい)

※長期休暇でも開室している日があります。

詳しくはボランティア活動支援室 twitter をご覧ください！

<http://twitter.com/volstaff/>



利用の仕方

前のページでは、「ボランティア活動支援室」についての紹介をしましたが、大体わかっていただけましたでしょうか？今度は実際に利用する方法をご紹介します！

1. 来室

ボランティア活動をしてみたい方は、まず一度ボランティア活動支援室にお越しください！開室中はほとんどの時間に学生スタッフがいますので気軽に入ってきてくださいね♪

2. ボランティア情報の閲覧

5つのジャンル（福祉、子ども、国際理解、環境、キャンプ）に分かれたボランティア情報の中から好きなものを選びます。もしやりたい分野が決まってない方は、学生スタッフも一緒に探します。もし、掲示物の中にやりたいものがなかった場合には希望のボランティアを探して、後日連絡をさせていただきます。

3. 申込み

やりたいボランティアが決まったら、申込みを行います。スタッフと一緒に申し込みの手続きを進めます。また、実際にボランティアをする場合には、万が一けがや事故が起こった場合のボランティア保険（280円）の加入が必要になるので、保険の手続きも一緒に行います。

4. ボランティア活動

当日は、貴重な体験ができると思うので、けがの無いように頑張ってください！

5. 体験レポート

ボランティア活動が終了したころに、スタッフからご連絡いたします。当日の様子や感想などを聞かせていただきたいと思っています。



〒221-8686

横浜市神奈川区六角橋3-29-1

神奈川大学横浜キャンパス

19号館305室（大学生協上）

(TEL:045-481-5661(内線4440))

FAX:045-481-2936

【ホームページ】ホームページでも詳しい情報を紹介しています。

<http://www.kanagawa-u.ac.jp/volunteer-support/>

【メールアドレス】メールでのお問い合わせも受け付けています。

vol-center@kanagawa-u.ac.jp



2015年度年間スケジュール

* 4月 新入生歓迎

* 6月 ボランティア説明会 ※1

* 夏休み期間 神奈川新聞花火大会ボランティア、ぐりぐら交流会

* 10月31日(土)、11月1日(日) 神大フェスタ

* 11月 三大学交流会(昭和女子大学、亜細亜大学、神奈川大学) ※2

* 12月 ゴミ拾い甲子園 ※3

* 8月~10月

他大学交流会(東洋大学、明治大学、青山学院大学、フェリス学院大学)

* 年間を通して ちょいボラ、ぐりぐら、文房具回収

※1 ボランティア説明会…生協の前と5号館前で学内ボランティア団体の Heart in HeatさんとGLOBAL YEN LEEPさんと合同でボランティアの説明会を行いました。

※2 三大学交流会…神奈川大学に各大学のボランティアセンターの学生スタッフが集まり、お互いのボランティア活動報告及びグループワークを行い、今後の協働企画について話し合いました。

※3 ゴミ拾い甲子園…株式会社 クリエイティブPRが企画する荒川のゴミ拾い甲子園に参加させてもらいました！毎年2回ほど行われているので、皆さんも参加してみてもいいのでは…？

そうだ、他大学へ行こう

様々な活動をしてきたボランティア活動支援室…
しかしまだ何か足りないのではないか…
それは何だろう…

そうだ、他大学へ行こう。そうすれば何か分かるはず…！
そう思い立って他の大学のボランティアセンターに
お邪魔してきました！
様々なお話を聞いているうちに改善点も
少しずつみえてきました。

フェリス女学院大学

フェリス女学院大学は、ボランティアコーディネーターが常駐しており、学生スタッフ自身が参加したい活動に主体的に参加していた。情報公開の方法を改め、一般学生のニーズに合わせたボランティアを提供する必要性、そしてその環境を作っていくことの重要性を感じた。今後の活動に活かす貴重な経験であった。(島袋)

明治大学

明治大学ボランティアセンターには職員の方が1人常駐しており、学生が足を運びやすいようにセンターの外にボランティア情報を掲示する等の工夫がされていた。自分達もそれを参考にして、学生が足を運びやすくなる環境づくりが必要であると感じた。また、本学のボランティア活動支援室は学生スタッフがいるため、今後その利点をもっと活かしていきたい。(茂手木)

東洋大学

東洋大学学生ボランティアセンターは学生主体で運営を行っており、学生スタッフがボランティアを企画し、一般学生の参加を募っていた。企画の実行の仕方などの話を聞きボランティア活動支援室の改善点等が見えてきたので、今回の経験を活かし神奈川大学の学生に気軽にボランティアに参加してもらえるよう活動していきたい。(村山)

青山学院大学

青山学院大学は学生が主体的に運営し、国際・地域・被災地の3部門が協力し合い活動していた。広報には工夫を施したチラシやFace Bookを上手に活用していた。スタッフの意識・情報共有に工夫が必要だと感じる事が出来た。今回の交流で終わらず、相互的に企画参加や協力し合っていきたい。(鈴木)

ご協力いただいたみなさま、ありがとうございました！
今回の経験を活かし、さらなる活動の向上を目指していきます！

第3回ボランティアフォーラム（国際文化交流学科2年小沼沙季）

2月25日から27日までの2泊3日、国立青少年教育振興機構主催で代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターで開催された第3回学生ボランティアフォーラムに参加しました。全国各地から大学生やNPO法人関係者が約500人集まり、ボランティアのあり方について一人ひとりが考える良い機会となりました。盛り沢山な内容であるため一部を紹介します。

メインは分科会とボランティア活動支援室の活動紹介でした。「カラフルなボランティアの世界をのぞいてみよう！」をテーマにした分科会では、グループごとにボランティアと聞いて連想するものを考え、その後今までに参加したボランティアについて語りました。私はボランティア駅伝（被災地支援）や、横浜市の施設で行なった子どもたちの余暇支援などを紹介しました。全国の学生と連携していくための良い機会となりました。夜には1年間の活動や、ボランティアコーディネートについて他大学、NPOの方々とは相互に紹介し合いました。

同じような志を持った人たちとの関わりは、今後のボラ室が外部団体との連携を強化していくためのステップになると思うので、次回もフォーラムに参加したいと思います。



ちょいボラ（経済学科1年並木千夏）

私が初めて参加したボランティア活動は中区ボランティアセンターが毎月第3土曜日に行っている山下公園の清掃ボランティアでした。この活動は午前中の2時間程度のちょっとだけのボランティア参加が可能なので略して「ちょいボラ」と呼ばれています。

私は大学生になってからボランティアというものに興味を持ちつつも、何からやったら良いのか分からず参加したことはありませんでした。そんな私にとってちょいボラは2時間という短時間で参加でき、場所も大学から近く、初めてのボランティア活動をするのには良い機会だと感じ参加してみようと思いました。実際に清掃活動に参加してみて、普段なかなか関わる機会の無い地域の方々と協力しながら清掃活動に励めるという事がとても新鮮でした。また、訪れたことのある山下公園が自分たちの力によってだんだんと綺麗になっていく事にとてもやりがいや達成感を感じました。土曜日にあるということや短時間で午前中に終わること、他にも地域の方との交流ができることなど、参加がしやすく魅力が沢山のボランティアでした。



花火大会ボランティア（自治行政学科1年内田佳奈）

こんにちは！1年の内田です。

このページでは、夏休みに行われた神奈川新聞花火大会のボランティアについて紹介します。

このボランティアは、学生の皆さんにボランティアについて知ってほしい！参加してほしい！という思いから企画された「出張ボラ」という、6月の中旬に行われた、ボラ室のボランティア紹介イベントで、学生の皆さんに募集をし、一番多くの参加者を集めることができたボランティアでした。

7月の頭には、参加者と私たちボラ室スタッフを集めた、事前説明会&交流会を開催し、いくつかのグループに分かれ、自己紹介をしてもらい参加者同士の顔を知ること、当日スムーズにボランティア活動をしてもらえるようにしました。

そして当日！8月4日に花火大会が開催されました。ボランティアの内容は、有料席に来るお客さんを指定された席まで誘導するというのが、主な内容です。といっても席の数はなんと約10000席以上！！とても広い敷地に並べられた席、、、最初にこの椅子たちを見たとき「大変そうだな。。。と思いました。

その言葉通り、とっても大変でした。その日は気温30℃を超え、炎天下でのボランティアとなり、水分補給がかかせませんでした。ですが、一般学生の皆さんやボラ室の先輩方と声を掛け合いながら、楽しく席に案内することができました。

また、お客さんにも励まされたり、撮影に来ていた有名人を見る事が出来たり、ゆるキャラがいたり、、、なんといっても、お客さんを案内し終えた後の花火はとってもきれいでした！

学童交流会体験記 ～ぐりぐら IN 神奈川大学～（自治行政学科3年児島大希）

どうもボランティア活動支援室（以下ボラ室）の児島です！

私たちボラ室は夏休みに「ぐりぐら」という食育を重視しているNPO団体に所属している学童保育の子ども達を大学に招き、「神大生と工作して遊ぼう！」というものを企画させて頂きました。

私は正直に申し上げますと子供が苦手で上手くいか不安でした（発案者は私です）。準備期間の間、私は子供達に何されるか分からない不安に苛まれながら当日を迎えました。

当日元気いっぱい飛び込んできた子供達約20人を相手するのは、我々ボラ室スタッフと一般学生含めた20人の精鋭達。「さあ、やったぞ」と臨んだリーダー児島。しかし子供達は予想に反し、礼儀正しく挨拶をして指定された席に着き、彼らに感心した矢先にとんでくるまさかの児島イジリ。その子供達と討論する私の姿を見ていた後輩は尊敬するかと思いきや、「子供と同じ目線でやり合っどうなんすか」の一言（褒めろよ、お前）。

そんな中進んだ、工作のダンボール空気砲では歓喜の嵐、紙ブーメランでは質問の嵐、子供達は楽しんでくれたと思います。



◆編集後記◆

前回の発行から1年が経ち、ボランティア活動支援室の活動内容も少しずつ変わってきました。去年から継続して行っている活動、新たに始めた活動を振り返りご紹介させて頂きました。いかがでしたか？

そもそもこの広報誌のタイトルである「Your Field」とはあなたの夢（世界）を、ボランティアを通して見つけてもらいたいという思いから名づけられたものです。この広報誌を手にとって初めてボランティア活動支援を知った方も少なくないと思いますが、皆さんのボランティア活動のきっかけになれば嬉しく思います。

もちろん紙面で紹介したボランティアの他にもたくさんボランティア情報をそろえておりますので、お気軽にお訪ねください。学生スタッフがみなさんをサポートいたします。また、他団体様とのボランティアの企画なども募集しておりますので、これからもボランティア活動支援室をよろしくお願い致します！

◆広報誌担当◆

経済学部	2年次	村山 莉穂
経済学部	1年次	田平 晃大
経済学部	1年次	豊島 大二郎
経済学部	1年次	並木 千夏

【発行】神奈川大学 ボランティア活動支援室
横浜キャンパス 19号館305号室

【TEL】045-481-5661（内線4440）

【FAX】045-481-2736

【HP】http://www.kanagawa-u.ac.jp/volunteer_support/

【E-mail】ku.vol.center@gmail.com

【twitter】<http://twitter.com/volstaff/>